

応急危険度判定員のための 実践スキルアップセミナー

～今すぐにも起こりうる首都直下地震に備えて～



【東京都防災ボランティア制度に基づく

被災建築物の応急危険度判定員制度とは】
建築技術者が、予め所定の講習を受け「応急危険度判定員」の登録証の交付を受け、地震後、行政等の招集に応じて、余震等による建築物の倒壊や落下物、転倒物による二次災害を防止するため、できる限り早く、短期間で建築物の被災状況を調査し当面の使用の可否について判定する制度です。

応急危険度判定員として現場に必要なスキルを学ぶ

建築物の密集する関東近県において、今すぐにも起こりうると言われている首都直下地震の発生時には被災地域で実際に判定業務を行える応急危険度判定員がこれまで以上に多数必要とされます。

東京都防災ボランティア制度に登録している「被災建築物応急危険度判定員」が応急危険度判定を要請された際に、迅速な判定をするためのスキルを磨く事を目的として、講習会を開催します。

【セミナー内容】

第一部 「世田谷区の取りくみ」 講師：はらだようへい
世田谷区都市整備部建築調整課 原田陽平氏

大地震発生時に応急危険度判定員の取りまとめを行う世田谷区建築調整課より、常時備蓄されている判定用備品や集合同所等、減災への取りくみについてご説明いただきます。

第二部 講演「現場を知る」 講師：つづあきひこ
第三部 模擬演習 一般財団法人日本建築センター 都竹昭彦氏

平成19年の中越沖地震に於いて応急危険度判定を行った講師による講演および演習を通じて判定の現場を知り、実践的なスキルを学びます。

講演の前半では応急危険度判定の基本的な流れも復習しますので判定員講習を受講してから日数がたっている方も安心してご参加ください。

2015年5月23日(土) 14:00～16:00

会場 **玉川区民会館 第2集会室**
東急大井町線 等々力駅下車徒歩1分 (受付13:30より)
東京都世田谷区等々力3-4-1 **玉川総合支所4階**

対象者 東京都防災ボランティア制度に基づく被災建築物応急危険度判定員
定員 35名(申込先着順)

会費 東京建築士会または世田谷支部会員および後援団体会員 1,000円

一般 2,000円

CPD 2単位

主催 東京建築士会 世田谷支部

後援 世田谷区

公益社団法人 日本建築家協会 世田谷地域会

一般社団法人 東京建築士事務所協会 世田谷支部

申込方法 必要事項をご記入の上、メールまたはFAXにてお申し込みください。

《申込締切日 5月13日》※お早めにお申し込みください。



申込先 FAX: 03-6276-7674 e-mail: event@take-archi.com

《応急危険度判定員のための実践スキルアップセミナー申込用紙》

ふりがな 性別 男・女 TEL

氏名 年齢 勤務先名

返信先 E-mail(またはFAX)

種別 東京建築士会(会員番号)・後援団体会員(参加団体名)・一般
世田谷支部会員(会員番号)

該当部分を○で囲んでください。会員の方は東京建築士会会員番号を、後援団体会員の方は参加団体名と会員番号をご記入ください。

CPD登録希望の方 参加団体名 CPD番号(ID)

※参加票を送信致しますのでFAX番号かメールアドレスを必ずご記入ください。

問い合わせ 東京建築士会世田谷支部スキルアップセミナー 事務局担当: 武居(たけすえ) TEL: 03-6276-7672 (武設計内)

個人情報の取扱い: 本申込書に記載いただいた情報は適切に管理し、本セミナーの運営及び東京建築士会世田谷支部が開催する他のイベントの案内・照会のために利用する場合があります。